

●第2回 テクノオーシャン '88

構成：国際海洋・沿岸開発展／国際シンポジウム

会期：昭和63年11月16日（水）～19日（土）4日間

会場：神戸国際展示場

テーマ：海と人と都市との共生

主催等：(財)神戸国際交流協会、(株)ワールド・インポート・マート

顧問機関：テクノ・オーシャン'88 実行委員会（委員長 山下 勇）

展示会：

161社・団体 259小間

● 国内 127社・団体 224小間

● 海外 7カ国 34社 35小間

（イギリス、フィンランド、フランス、ノルウェー、カナダ、アメリカ、デンマーク）

入場者数：33,064人

国際シンポジウム：11月16日～18日（3日間）

4会場・27分科会

実施機関：テクノ・オーシャン'88 学術組織委員会（委員長 岡村 健二）

会議運営：テクノ・オーシャン'88 会議運営委員会（委員長 酒匂 敏次）

参加者数：462人

同時開催行事／関連行事：

◇ テクニカルビジット（18日）

◇ 関連8学会

● 海洋気象学会

● 舶用機関学会

● 21世紀沿岸都市経営研究会

● 国際アコースティック・エミッションシンポジウム

● 造船三学会連合大会

● 土木学会海洋開発シンポジウム

● 日本航海学会

● 造船学会艤装委員会

◇ 船の一般公開（16～19日）

「天鷹丸」「深江丸」「凌風丸」「海技丸」「光洋丸」「なつしま」